

お湯と炎の専門店 佐藤ガス通信

株式会社 佐藤ガスサービス

〒252-0311

神奈川県相模原市南区東林間4-44-4

tel 042-743-0157 fax 042-742-3901

mail info@satogasservice.jp

hp <http://www.satogasservice.jp>

2016.9月号(第66号) 2016.9.15

朝夕毎に涼しくなり、過ごしやすい季節となりましたが、皆様お元気で
お過ごしでしょうか？今月も佐藤ガスをよろしくお願ひします。

夢は努力でかなえる

法人会の全国大会で今回はスキージャンプ葛西智明氏の講演を聞いてきました。

葛西選手は40代に入ってからワールドカップやオリンピック等の大会で活躍を続ける姿を北欧からレ
ジェンドと呼ばれるようになり日本でもその称号が定着している方です。

葛西選手が幼い頃は家が貧しく家には電話もなくスーパーに借金して食料品を借りているような状態でした。そして幼い頃の葛西選手は体が弱く鍛えるためにマラソンやクロスカントリーをしていたそうです。そんな頃、町にあったスキーのジャンプ台で飛ぶことの楽しさを覚え家に帰りジャンプをやりたいと言ったところだめだと言われたそうです。

スキーの板10万円、スキーウェア7万円、ヘルメットが5万円が工面出来る経済状態のはず無い事は子供ながらに分かってはいましたが、諦められず同じ町出身の岡部選手のお下がりをもってスキーのジャンプを始めたそうです。貧乏故のハングリー精神から小学校中学校時代の大会では負けなしたったそうです。

レジェンド①

中学3年生の時テストジャンパーとして大倉山の大会で初めてラージヒルのジャンプ台を飛んだそうですが、昔はジャンプ台のガイドラインはテストジャンパーが何度も何度も繰り返すことで溝を作っていたそうです。

その大会で優勝した選手よりテストジャンパーだった葛西選手の方が飛んでいて影の優勝者として新聞の一面を飾ったのがデビューだったそうです。

レジェンド②

先輩選手の秋元さんが地元の大倉山を練習場所としていた時に葛西選手は憧れの人が来ていると喜び一緒にジャンプをしていたそうです。その際に秋元さんがすごい中学生が居ると所属していた会社の人に「今からあいつに、唾つけとけ」と言ってくれたおかげで実は中学2年生の時点で就職先の内定をもらっていたそうです。高校卒業するまでは絶対に誰にも言うなと言われたことを忠実に守っていたそうです。

19歳でアルペールビルオリンピックに出場してからソチオリンピックまで7回連続冬季オリンピック出場後続けている葛西選手は最年長優勝、7大会連続出場、最年メダリスト、で3つのギネス世界記録に認定されているほどの方ですが、2014年ソチオリンピックで銀メダルを獲得した年には妹さんをなくし2016年1月に第一子を授かるもその直前にお母さんをなくすなど辛い境遇の中でもジャンプ台から飛び続け2016年1月31日にはワールドカップ最多出場ノルディックスキー世界選手権最多出場の2つが新たにギネス世界記録に認定され合計5つのギネス記録ホルダーとなったそうです。

次の平昌オリンピックでオリンピックで引退を考えていたそうですが東京オリンピックが開催されることとなって自国開催だった長野オリンピックに出場出来なかった悔しさから旭川でのオリンピックまでは選手として出場したいと新たな目標を目指して努力を続ける気持ちになったそうです。

そしてもう一つの夢が金メダルを取って現在所属している土屋ホームでレジェンドモデルのマイホームを建てることだそうです。

葛西選手の講演会は先輩でライバルの原田選手をネタにする小話が盛りだくさんで妹さんやお母さんの悲しく辛い話がありながらも終始とても楽しい講演会でした。

代表 佐藤 俊太郎